

いよいよ始まる川崎市長選挙

ひでしま^{よしお}善雄さんの推薦決定

(事務局)

13日告示、27日投開票の予定で川崎市長選挙が始まりますね。

(堀添)

はい。民主党は秀嶋善雄さんから推薦依頼を受け、先日、正式に推薦することを決定いたしました。新聞報道によると、自民党、公明党も各々、秀嶋善雄さんの推薦を決定したようです。

(事務局)

秀嶋さんとはどのような方ですか。

(堀添)

秀嶋さんは、もともとは総務省の職員で、本省で自治政策に取り組むとともに、仙台市や岐阜県など自治の現場で経験を積まれてきました。川崎市には、2004年に健康福祉局参事として来られ、2006年4月から2年間、財政局長も務められました。私も現職時代に市議会の議場で何回か議論をさせていただきましたが、落ち着いた答弁をされる方だな、という印象を受けました。

その後、総務省に戻られた後に東京都に行かれ、退職される前までは東京都の地域教育支援部長を務められていました。

地方自治の分野での経験が厚く、本市だけでなく他の自治体での実務も経験されているなど、素晴らしい方であると思います。



- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブニーイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 2011年4月、同3期目挑戦するも惜敗。
- 民主党神奈川18総支部 常任幹事
- 民主党神奈川県政策委員
- 川崎地方自治研究センター客員研究員
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女の3人家族 下作延在住



(事務局)

どのような政策を掲げられているのですか。

(堀添)

川崎市が持っている潜在的な活力をさらに引き出し、市民の市政への参画を進め、市民、市長、市議会、行政が一体となることで日本一成長力のある街にする、という方向性を掲げられています。

民主党も推薦に当たっては、福祉・医療や子育て・教育、地方分権の推進など7つの分野で31項目にわたる政策協定を締結しています。

(事務局)

秀嶋候補に対しては「官僚出身」という点をマイナスに見る方もいるようですが。

(堀添)

たとえば野田市の根本市長は国土交通省の出身ですが、全国に先駆け公契約条例を制定するなど、むしろ国の政策に大きく影響を与えています。地方自治分野での秀嶋さんの経験は、川崎市における自治推進に大きく役立つものであると、私は思います。

(事務局)

ありがとうございました。

ひでしまよしお(秀嶋善雄)

1968年生まれ44歳/東京大学法学部卒/自治省(現総務省)入省/2004年から4年間、川崎市で財政局長などを務める/4人家族

ひでしま善雄さんの政策(抜粋)

子育てしやすさ 日本一の街

病児・病後児保育を拡充するなど安心して子育てできる環境を整え、早急に「待機児童ゼロ」を目指すと共に、教育面では、わからない子供、発達に障害のある子供にはきめ細やかな指導を行い、意欲のある子供にはその意欲をさらに引き伸ばす機会を提供するなど、一人ひとりの能力が最大限に発揮され、地域や世界で活躍できる子供を育てる環境づくりを推進します。同時に、学校現場、児童相談所、区役所、地域との連携で、いじめ・虐待のない街を目指します。

「おもいやり」あふれる医療・福祉 日本一の街

地域の見守り・見廻りなど、各区のボランティア、NPOの力を総動員し、地域の福祉力の向上(例えば、大学やNPOが間に入って、お年寄りの空いている部屋に大学生が安く住み、代わりに重たい生活用品をお年寄りに代わって運ぶ等の生活互助を行う仕組みの普及など)を目指します。ソーシャルビジネスの動きも近年盛んです。お年寄りの活力も活用しながら、こうした動きを通じ、子育ての支援、高齢者の生活支援をサポートします。

女性や若者があこがれる 日本一の街

少子化問題は若者問題でもあります。安定した就職ができないといった若者を取り巻く雇用問題や、その前段階の職業意識を身につけるキャリア教育等の問題があります。ハローワークや教育委員会まかせでなく、NPOなど市民の底力を結集し、教育から雇用に至る一貫した視点で、若者を支援し、若者が川崎に住んでよかったと思える街を目指します。

また、妊娠を期に退職を余儀なくされている女性が多いこと、「保活」に代表されるように子育てと仕事の両立など、女性がキャリアを生かして活躍する際には様々な問題があります。女性が住んでよかったと思える街を目指し、ひとつの解決のモデルを、この川崎から発信していきたいと考えます。

災害につよい 日本一の街

首都直下型地震や「ゲリラ豪雨」に負けない街をつくります。また、消防団等自助・共助の取り組みをサポートし、地域の防災力の一層強化で、日本一災害につよい街を目指します。

[ひでしま善雄ホームページ: http://y-hideshima.jp](http://y-hideshima.jp)

連載コラム 川崎と高津の地名 (No.14) 参考: 上田恒三著「高津村風土記稿」 日本地名研究所編「川崎の町名」

「千年」「千年新町」の由来

明治8年、清沢村と岩川村が合併したときに、村名の争いを避けるために、縁起の良い「千歳」から千歳村と命名されたようです。その後、明治11年に千年村に村名変更されました。明治22年の市制・町村制施行時に橋村の大字となり、昭和12年には川崎市に編入されています。

千年新町は、昭和29年に千年の東北端の字大耕地の部分に土地区画整理事業が実施され、新しく住宅地となったため、新たにつけられた町名です。

旧千年村の南部を中原街道が通っていますが、この

街道は徳川家康が鷹狩のために行き来した道でもあります。また、蟻山坂と呼ばれる坂は、切通しができるまでは、かなりの急坂でした。橋小学校の北西には殿坂という鎌倉道の一部があったと伝えられていますが、確認されていません。

昭和29年、春日神社、神明社、御獄神社を合祀し、御獄神社の地に千年神社ができました。



毎週、最新ニュースを駅頭でお配りしています。

水曜日 午前7時～8時半 溝口駅南口

政治資金ご寄附のお願い

地元から日本改革を実現するために、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

「ほりぞえ健後援会」宛

郵便振替: 高津郵便局 口座00270-1-24169
銀行振替: 川崎信用金庫 高津支店 普通0796294